

かりやすく紹介します。

②山陰海岸誕生の物語

「日本海の形成」によって誕生した「山陰海岸」の成り立ちを、5つの時代に分けて紹介します。

各時代を代表する岩石や化石レプリカ、玄武洞の玄武岩の実物などのほか、天井一杯まで立ち上がる「鳥取砂丘の地層剥ぎ取り標本」が鳥取砂丘の成り立ちを伝えてくれます。

③日本海の成り立ちと生きもの

日本海の構造やスケールの大きさを実感できるのが、展示室中央にある長径3.5メートルの日本海海底地形模型です。実際に模型の上にあがり、日本海を見下ろすこともでき、また頭上には日本海に特徴的な海の生きものの標本も優雅に泳いでいます。

また、日本海に特有の「日本海固有水」など一般にはあまり知られていない日本海の特徴をわかりやすく解説するほか、深海の生きものを記録した映像をモニターで見ることができます。

④山陰海岸の生きもの

陸地、砂浜、磯そして海中と、山陰海岸のさまざまな環境でくらす多様な生きものを紹介するコーナーです。

砂浜や磯場などそれぞれの環境に適応した生きものの姿や生態について、豊富な標本やレプリカなどを使って紹介します。

⑤調べてみよう&⑥トピックス

そのほか、山陰海岸の岩石や生きものについて自分で調べたり、学芸員と一緒に学べる学習コーナーも充実させ、体験学習や学習相談に対応し



ます。

また、タイムリーな話題や調査結果などを紹介する「トピックス・ニュース」コーナーでは、いつ来ても何か新しい情報をご覧いただけます。

水槽で生きものを観察

エントランスホールのさまざまな水槽では、山陰海岸にくらす生きものの行動や生態など、生きている姿を観察できます。

例えば、卵から交尾・繁殖までのイカの一生を、一年間を通してみることができ、生命への感動や自然のふしぎさを実感していただけます。

充実した体験学習

山陰海岸学習館は、透明な海と変化に富んだ海岸美を特徴とする浦富海岸の中に立地しており、毎年夏を中



野外観察会「海岸の石を調べよう」

心に「磯の観察会」「地曳き網を使った魚の赤ちゃん調べ」などの体験学習を行ってきました。

また『山陰海岸ジオパーク』の魅力伝えるため、新たに「ジオスポット・ツアー」などにも取り組み、山陰海岸の新たな魅力が発見できると好評です。

リニューアル後においても、これらの体験学習を充実していきます。

内容を一新し、日本海と山陰海岸の魅力をより堪能できる『山陰海岸学習館』が皆様のご来館をお待ちしています。（学芸課長 片山彦志）

【閉館のお知らせ】

※山陰海岸学習館はリニューアル工事のため、現在、閉館中です。

〈閉館期間〉

2月1日(月)～4月30日(金)

※リニューアルオープンは、5月1日(土)の予定です。詳しくは、県立博物館ホームページ等でお知らせします。

【休館中のお問い合わせ】

※月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで、電話による相談は引き続き受け付けます。

※文中のイメージ図は計画段階のものです。最終的な展示室とは配置等が異なる場合があります。

隠れジオスポット・滝ヶ磯の柱状節理

(鳥取市福部町岩戸)

山陰海岸ジオパークの鳥取エリアを代表するジオスポットといえば、「鳥取砂丘」と「浦富海岸」ですが、そのちょうど中間に位置する駒馳山の海岸部には、行ってみるとあっと驚く“隠れジオスポット”があります。

国道9号線から通称「砂丘道路」に入って、岩戸港へ向かいます。岩戸港の岩戸神社のすぐそばには中国自然歩道の入り口があり、この道を登って、大谷・滝ヶ磯の分岐点から5分ほど歩くと、突然、高い断崖が行く手をさえぎるように現れてきます。



滝ヶ磯の柱状節理

これが「滝ヶ磯の柱状節理」です。急な道を下り、この断崖を観察しましょう。(※)

この高い断崖は六角

柱状の岩石を横に並べて積み上げたような崖で、横からその断面を見るとハチの巣のようになっています。これは鳥取県東部に分布する、新生代第三紀中新世(約2100万年～1400万年前)に堆積した地層である鳥取層群の荒金火砕岩層に属する凝灰角礫岩を貫いて、地下から噴出してきたマグマが冷え固まってできた安山岩で、岩脈と呼ばれるものです。柱状の割れ目は、高温のマグマが周囲の岩石に接して冷えるとき、体積が収縮してできるもので、柱状節理といえます。

滝ヶ磯の柱状節理は、幅は150mにも達し、もろい凝灰角礫岩が日本海の荒波によって侵食された結果、固くて崩れにくい安山岩が残っており、高さ100mにもおよぶ垂直に近い断崖になったものです。山陰海岸ジオパーク内では、京丹後市の「立岩」や豊岡市の「玄武洞」、香美町の「鎧ノ袖」などの柱状節理が有名ですが、この滝ヶ磯の柱状節理もそれら



滝ヶ磯の礫浜と貫入岩体(柱状節理)

にひけをとらないくらい見事なものです。

「滝ヶ磯」の名前は、雨が降った後に、この柱状節理の上部から雨水が滝のように磯に落ちることに由来し、その水しぶきを上げる滝と大規模な柱状節理の姿が相まって、とても勇壮な景観を醸し出します。

みなさんもぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

(学芸課 山口 勇人)

(※) 滝ヶ磯に通じる中国自然歩道は平成22年1月現在、落石の危険があるため通行止めとなっていますが、復旧工事が行われており、平成22年度中には通行可能となる予定です。詳しくは、県生活安全課(電話:0857-20-3675)まで。

コ ラ ム

鳥取藩の水軍

江戸時代の因幡・伯耆両国を支配した鳥取池田家には、「御船手」と呼ばれた水軍組織がありました。その歴史は、寛永9年(1632)初代藩主池田光仲が岡山から鳥取へ転封したことに始まります。

「御船手」の長官は、御船手役と呼ばれ、海や川・湖を支配するという重要な役割が与えられました。初代長官を横河次太夫といい、転封後、藩の御船手組織の基礎を作った人物です。もとは二見浦(明石市)の水夫で、寛永元年(1624)の大坂城普請において、蛸石(大阪城で最大の石垣)を備前国犬島(岡山市)から輸送したことで有名です。

御船手の役所を「御船宮」といい、袋川のそば鳥取城下の鑄物師町にありま

した。ここには藩主の船である「御座船」や藩船の繋留施設のほか、「御船宮」の語源となった船玉大明神を祀る神社や水兵の居住施設がありました。このほか、出張所として現在の浦富・賀露・泊・赤碕・米子に御番所が、境港には「御手船繋場」と呼ばれる藩の千石船専用のドックが設置されていました。

御船手の仕事は、全長130kmに及ぶ因幡・伯耆の海岸の警備、各港の出入船の監視、船改め、藩内漁業の統括、内外水面の税の取り立て、藩米の大坂輸送など多岐にわたります。このうち船改めとは、毎年秋に御船手役人が藩内を廻り、庶民が所有する船を改めるというものです。また、幕末になると、藩では



赤碕(琴浦町赤碕)の御番所

西洋の近代的な海軍技術を導入するため、藩士を江戸などに派遣しています。そのなかの一人、伊藤重之進は江戸幕府の勝海舟のもとで学びました。

さて、こうした近世鳥取の海の歴史を紹介する企画展として、「海と生きる一海から見た江戸時代のとっとり(仮称)」を10月9日から11月14日にかけて開催します。鳥取藩の水軍から海運、漁業の歴史まで、海から見た新たな鳥取の歴史像に迫ります。ご期待ください。

(学芸課 大嶋 陽一)

生誕100年 尾崎悌之助展



尾崎悌之助《石仏への夢1》1980年、油彩・カンヴァス、当館蔵

今年には鳥取市出身の洋画家、尾崎悌之助の生誕100年にあたります。これを記念して、この春、博物館では「生誕100年 尾崎悌之助展」を開催します。

明治43(1910)年、鳥取市に生まれた尾崎は京都高等工芸学校(現京都工芸繊維大学)で都鳥英喜らに師事し、関西美術院では黒田重太郎に学びました。在学時より全関西展や独立展に出品し、卒業とともに帰郷した後も、義兄の伊谷賢蔵らが結成した行動美術協会に参加し、昭和32(1957)年には会員となります。尾崎は昭和27(1952)年の鳥取大火で被災し、それまで描いた絵を全て焼失するという辛い体験を味わいましたが、一貫して絵筆を捨てること

なく、作品の制作に励みました。

尾崎は帰郷後、生涯鳥取で制作を続け、各地の風景や郷土玩具、地産品といった郷土にゆかりのある主題をテーマに取り上げました。一方で尾崎はガスタンクや操車場、材木置場といった通常絵画の主題として取り上げられることのない対象を独特のマティエール感とともに描き、フォーヴィスムに基づいた独特の画風でも知られています。ことに石仏や彫刻を主題とした晩年のモノクローム絵画はその画業の集大成といえるでしょう。本展では博物館のコレクションを中心とした代表作によって尾崎の画業の全貌に迫ります。

(美術振興課 尾崎 信一郎)

新収蔵品紹介

植田正治《パパとママと子どもたち》

鳥取県出身の写真家・植田正治(1913年～2000年)は、砂丘を舞台とした数々の作品によって、国内はもとより欧米でも広く知られている写真家です。このたび当館では、代表作を中心に29点の植田作品を収蔵しました。本稿では、その中から《パパとママと子どもたち》(1949年)をご紹介します。

本作は、植田の自宅に近い境港の砂浜で撮影されました。モデルとなったのは、植田とその家族です。植田はこのころ、家族の記念写真となるような作品の制作を目指していました。撮影に際して、植田はあらかじめ決めておいた通りに家族を並ばせ、ポーズも自ら指定してい

ます。「演出」と呼ばれるこの方法は、植田独自の撮影スタイルとして有名です。家族の間に置かれたブーツと傘、山高帽は、植田が好んだ画家、ルネ・マグリットへのオマージュでしょうか。空と砂浜というシンプルな背景が、植田の機知に富んだ構図と、家族それぞれの個性を際立たせています。

植田はこの背景を得るために、四月頃の薄曇りの日を選んで撮影に出かけたと言っています。雲のない明るい空と白くて広い砂浜は、のびやかで自由な気分を醸しだし、本作品に軽やかな魅力を与えています。穏やかなユーモアのうちに普遍的な幸

福感を感じさせる本作は、植田正治の代表作と言うべき一点です。

(美術振興課 竹氏 倫子)



植田正治《パパとママと子どもたち》1949年、印画紙、ゼラチン・シルバー・プリント、当館蔵 ©Shoji Ueda Office

お知らせ

開館時間を延長しています

4月～10月の企画展※開催期間中の
土曜日、日曜日、祝日は午前9時～午後7時まで開館します。

※企画展とは、鳥取県立博物館が主催して行う特別の企画による展示です。
(鳥取県立博物館が主催する企画展以外の展覧会においても、上記のように開館時間を延長する場合があります。詳しくは鳥取県立博物館にお問い合わせください。)



2010 4 APR.	《アートシアター》 〈DVD〉光と影	■4月3日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《アートシアター》 〈DVD〉見えるままに描くまで	■4月10日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《ギャラリートーク》 近代美術展示「尾崎悌之助 人と画業」	■4月17日(土)14時～14時30分/近代美術展示室 ■高校生～一般/定員なし ※入館券が必要です(学生以下等は無料)
	《天体観望会》 春の星を見る会	■4月17日(土)19時～21時/前庭 ※雨(曇)天時は5月8日(土)に延期 ■小学生以上～一般/定員なし
2010 5 MAY.	《ギャラリートーク》 近代美術展示 「生誕百年 尾崎悌之助展」	■4月24日(土)14時～14時30分 ■高校生～一般/定員なし ※入館券が必要です(学生以下等は無料)
	《ワークショップ》 鯉のぼりをつくろう!	■5月1日(土)14時～16時/会議室他 ■幼児・小学生とその保護者/定員20組 (40名・先着順)※申込期間4月17日～
	《アートシアター》 〈DVD〉透視画法	■5月8日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《歴史講座》 古文書を読む会(春の陣)(2回)	■5月9日・23日(日)14時～15時30分/会議室 ■一般/定員20名(要申込・先着順) ※申込期間4月11日～
2010 6 JUN.	《アートシアター》 〈DVD〉近代の人間像	■5月15日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《歴史講座》 平城(なら)の古記録を読む(2回) —奈良時代の因幡と伯耆—	■5月16日・30日(日)14時～15時30分/会議室 ■一般/定員20名(要申込・先着順) ※申込は電話で受付、4月20日～
	企画展関連《ギャラリートーク》 企画展「楊谷と元旦」	■5月22日(土)14時～15時/特別展示室 ■高校生～一般/定員なし ※入館券が必要です(学生以下等は無料)
	《特別自然講座》 すげの会講演会	■5月22日(土)14時～16時 /鹿野往來交流館(鳥取市鹿野町) ■一般/定員なし
2010 7 JUL.	企画展関連《講演会》 因幡画壇の黄金時代はいかにして作られたか	■5月29日(土)14時～15時30分/講堂 ■高校生～一般/定員250名(先着順)
	企画展関連《アートセミナー》 謎の絵師・片山楊谷	■6月5日(土)14時～15時30分/講堂 ■高校生～一般/定員250名(先着順)
	企画展関連《講演会》 風景への熱情 —江戸時代の山水癖(マニア)と谷元旦—	■6月12日(土)14時～15時30分/講堂 ■高校生～一般/定員250名(先着順)
	企画展関連《アートセミナー》 谷元旦から島田元旦へ —『蝦夷紀行』を中心に—	■6月19日(土)14時～15時30分/講堂 ■高校生～一般/定員250名(先着順)
2010 8 AUG.	《野外観察会》 学芸員と楽しむ「鳥取砂丘」探検	■6月20日(日)9時30分～12時30分 /鳥取砂丘 集合:砂丘ユニオン駐車場 ■小学生以上～一般/定員30名(先着順) ※申込期間5月27日～(電話のみ)
	《アートシアター》 〈DVD〉ジャポニズムの時代	■6月26日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《講演会》 平城京で活躍した因幡・伯耆の人びと	■6月27日(日)14時～15時30分/講堂 ■一般/定員250名(先着順)
	《アートレクチャー》 スペシャルアートレクチャー	■7月3日(土)14時～15時30分/講堂 ■一般/定員250名(先着順)
2010 9 SEP.	《ワークショップ》 うるし工芸に挑戦!①	■7月10日(土)14時～16時/会議室 ■小学生～一般/定員30名(先着順) ※申込期間6月26日～
	《ギャラリートーク》 近代美術展示 「前田寛治 絵と言葉」(仮称)	■7月17日(土)14時～14時30分 /近代美術展示室 ■高校生～一般/定員なし ※入館券が必要です(学生以下等は無料)
	《企画展関連講演会》 シーラカンスとブラジル魚類化石	■7月17日(土)14時～15時30分/講堂 ■一般/定員250名(先着順)
	《企画展関連展示解説》 大陸移動とシーラカンス類の進化	■7月18日(日)13時30分～14時30分 /第1・第2展示室 ■一般/定員なし ※企画展入場料が必要です

2010 7 JUL.	《歴史講座》 弓矢をつくろう	■7月19日(月・祝)10時～15時/会議室、前庭 ■小学校4～6年生とその保護者/定員20名 (要申込・抽選) ※申込期間6月25日～7月9日(往復ハガキ)
	《野外観察会》 川原の石を調べよう!	■7月24日(土)10時～15時/袋川河川敷(国府町)※変更あり ■小・中学生のみ/定員30名(先着順) ※申込期間7月1日～(電話のみ)
	《アートシアター》 〈DVD〉セザンヌと造形	■7月24日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《講演会》 律令制の成立と山陰道諸国(仮称)	■7月25日(日)14時～15時30分/講堂 ■一般/定員250名(先着順)
2010 8 AUG.	《野外観察会》 仁風閣植物園	■7月31日(土)9時～12時/仁風閣 ■小・中学生のみ/定員30名(要申込・先着順) ※申込は仁風閣(0857-26-3595)へ
	《ワークショップ》 型どりアートに挑戦!①	■7月31日(土)14時～17時/会議室 ■幼児～一般/定員30名(先着順) ※申込期間7月17日～
	《野外観察会》 昆虫観察入門 ～街灯の下で昆虫を探そう～	■7月31日(土)19時～21時 /会議室・博物館周辺 ■小学生以上～一般/定員30名(先着順) ※申込期間7月8日～(電話のみ)
	《自然講座》 化石レプリカをつくろう!	■8月1日(日)午前の部10時～12時/ 午後の部13時30分～15時30分/会議室 ■小・中学生のみ/午前の部・午後の部とも 定員各20名(要申込・抽選) ※申込期間7月18日～7月24日消印有効(往復ハガキ)
2010 9 SEP.	《ワークショップ》 スペシャルワークショップ	■8月7日(土) 開催時間、会場、対象者未定 ※申込期間7月24日～
	《自然講座》 夏休みの標本調べ相談室	■8月8日(日)10時～17時/会議室 ■小学生以上～一般/定員なし
	《民俗講座》 鳥取県の民話を聞く会	■8月8日(日)14時～15時 /常設展示室内復元民家 ■一般/定員なし ※常設展示室の入場料が必要です
	《ワークショップ》 教師のアートカルタ演習	■8月14日(土)14時～16時/会議室 ■幼・小・中・高校の美術教師/定員30名 (先着順) ※申込期間7月31日～
2010 9 SEP.	《天体観望会》 夏の星を見る会	■8月14日(土)19時～21時/前庭 ※雨(曇)天時は中止 ■小学生以上～一般/定員なし
	《歴史講座》 お金をつくろう	■8月15日(日)10時～12時、13時30～15時30分 (1日2回開催)/会議室 ■小学校4～6年生とその保護者/定員各20名 (要申込・抽選) ※申込期間7月23日～8月6日(往復ハガキ)
	《ワークショップ》 アートカルタをつくろう!	■8月21日(土)14時～16時/会議室 ■小学生～一般/定員30名(先着順) ※申込期間8月7日～
	《歴史講座》 刀のしくみを調べてみよう!	■8月22日(日)14時～16時/会議室 ■小学校4～6年生とその保護者/定員10組 (要申込・先着順) ※申込期間7月22日～
2010 9 SEP.	《ギャラリートーク》 夏休み企画「展覧会でみるアートカルタ」	■8月28日(土)14時～14時30分/近代美術展示室 ■幼児～一般/定員なし ※入館券が必要です(学生以下等は無料)
	《アートシアター》 〈DVD〉視覚の変貌	■9月4日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
	《ワークショップ》 うるし工芸に挑戦!②	■9月11日(土)14時～16時/会議室 ■小学生～一般/定員30名(先着順) ※申込期間8月24日～
	《アートシアター》 〈DVD〉構図の探求	■9月18日(土)14時～14時30分/講堂 ■中学生～一般/定員250名(先着順)
2010 9 SEP.	《歴史講座》 埴輪をつくろう	■9月20日(月・祝)14時～15時30分/会議室 ■小学校4～6年生とその保護者/定員20名 (要申込・抽選) ※申込期間8月27日～9月10日(往復ハガキ)
	《トークセッション》 スペシャルトークセッション	■9月25日(土)14時～15時30分/講堂 ■高校生～一般/定員250名(先着順)

※特に記載のないものは申込不要です。※講座によっては材料費等が必要な場合があります。詳しくはホームページなどでご確認ください。※小学生以下は保護者同伴でご参加ください。※申し込み・お問い合わせは学芸課(0857-26-8044)または美術振興課(0857-26-8045)へ。

鳥取県立博物館ニュース MUSEUM PRESS No.9

平成22年(2010年)3月19日発行
編集・発行 鳥取県立博物館

住所 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地
TEL 0857(26)8042(代)
FAX 0857(26)8041
URL <http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.jp

JR鳥取駅からバスで

100円バス「くる梨」青コース
「⑤仁風閣・鳥取県立博物館」下車すぐ
ループ麒麟獅子Aコース(土・日・祝と夏季のみ)
「④鳥取城跡」下車すぐ
砂丘・湖山・賀露方面行
「西町」下車約400m
市内周り岩倉・中河原方面行
「わらべ館前」下車約600m

■JR鳥取駅からタクシーで約10分
■当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)

